
ExionLC 2.0システム用Analyst 1.7.2 ソフトウェアコンポーネント

リリースノート



本書はSCIEX機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部を複製することは、SCIEXが書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アSEMBル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのためSCIEXにより供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEXの保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、またSCIEXの唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEXは、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および/または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および/またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です。

AB SCIEX™ はライセンスの下で使用されています。

© 2021 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.
Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3
Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

目次

1 はじめに.....	4
関連マニュアル.....	4
2 ExionLC 2.0システム用Analyst	
1.7.2ソフトウェアコンポーネントの新機能。	5
強化と修正	5
機能と強化.....	5
使用上の注意と既知の問題	5
既知の問題.....	5
使用上の注意.....	6
3 ExionLC	
2.0システムでサポートされているデバイスモデルとファームウェアバージョン (ROM)	9
4 インストール.....	10
ExionLC 2.0システム用Analyst	
1.7.2ソフトウェアコンポーネントをインストール	10
ExionLC 2.0システム用Analyst	
1.7.2ソフトウェアコンポーネントの削除.....	11
A フォルダーとファイルの更新および新規作成.....	12
お問い合わせ先.....	16
お客様のトレーニング.....	16
オンライン学習センター.....	16
SCIEXサポート.....	16
サイバーセキュリティ.....	16
ドキュメント.....	16

以前のソフトウェアバージョンに関する情報は、そのソフトウェアバージョンに付属のリリースノートを参照してください。

関連マニュアル

Analystソフトウェア用ガイドおよびチュートリアルは、ソフトウェアとともに自動的にインストールされ、スタートメニューから利用できます：

- Windows 10オペレーティングシステムで構成されたコンピューターの場合：**Start > SCIEX Analyst > Analyst Documentation**
- Windows 7オペレーティングシステムで構成されたコンピューターの場合：**Start > All Programs > SCIEX > Analyst**

入手可能な全ドキュメントのリストは、ソフトウェアのヘルプから確認できます。ヘルプを表示するには、ソフトウェアを起動し、**F1**キーを押します。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントに付属のカスタマーリファレンス DVD を参照してください。

ExionLC 2.0システム用Analyst

1.7.2ソフトウェアコンポーネント の新機能。

2

強化と修正

機能と強化

- ExionLC 2.0システムに対応しました。

使用上の注意と既知の問題

注：括弧内の数値は、SCIEX内部追跡システムにおける各問題/機能の参照番号です。

既知の問題

Analystソフトウェアの**ExionLC 2.0**システムステータスアイコンは赤色ですが、準備完了（**Ready**）と表示されます。

ExionLC 2.0システムでエラーが発生した場合、**Analyst**ソフトウェアのLCステータスアイコンは赤色になりますが、LCステータスとして準備完了（**Ready**）状態が表示される場合があります。復旧するには、ハードウェアプロファイルを無効にしてから、再度有効にしてください。撮影を開始する前、特にシステムがスタンバイ（**Standby**）状態になった後は、検出器のランプが点灯していることを確認してください。（AN-1966）

File Infoペインが開いている状態で**Show Next Sample**、**Show Previous Sample**、**Go To Sample**ボタンを使用すると、LCメソッド情報が正しく表示されないことがありました。

データファイルの**File Info**ペインがエクスプローラモードで開かれている場合に、上部ツールバーの**Show Next Sample**、**Show Previous Sample**、**Go To Sample**アイコンをクリックすると、LCメソッドのプロパティが正しく表示されないことがありました。LCメソッドの情報が完全に表示されない場合や、期間や実験の情報が重複する場合があります。問題が発生した場合は、ハードウェアプロファイルが有効になっている場合は無効にし、**Analyst**ソフトウェアを終了してから、コンピューターを再起動してください。この問題を回避するには、ツールバーのこれらのアイコンをクリックする前に、**File Info**ペインを閉じてください。（AN-1967）

Analystソフトウェアでは、LCシステムに検出器が搭載されている場合、スタンバイ（Standby）状態にあるExionLC 2.0システムが待機（Wait）状態として表示されません。

ExionLC 2.0システムにDADまたはMultiwavelength Detectorが搭載されている場合、LCシステムと質量分析装置がスタンバイ（Standby）状態になった後、WaitExionLC 2.0システムのAnalystソフトウェアステータスアイコンは黄色に変わりますが、LCシステムの状態はと表示されます。これは、システムがスタンバイ（Standby）状態のときに検出器のランプが消灯するためです。これはステータス表示の問題で、システムの動作には影響しません。
(AN-1968)

溶媒レベルパラメーターを変更しても、すぐにはステータスが更新されません。

溶媒レベルパネルでパラメーターを変更した後、更新されたパラメーターがステータスウィンドウに表示されるまで5秒間待つか、いずれかのパラメーターを再度変更してください。
(AN-2038)

ExionLC 2.0洗浄システムの設定でバルブ洗浄が選択されている場合、メソッドの保存はできません。

ExionLC 2.0洗浄システムの設定でバルブ洗浄を選択すると、取得メソッドが正常に保存されず、「取得メソッドをファイルに書き込む際にエラーが発生しました！コピーメソッドは失敗しました」というエラーメッセージが表示されることがあります。この問題が発生した場合は、次の操作を行います。

1. ハードウェアを無効化して、Analystソフトウェアを閉じます。
2. Configuration_Default.xmlファイル（C:\ProgramData\ExionLC 2.0\Configurations）と ExionLC2フォルダー（C:\ProgramData\SCIEX）を削除するか、名前を変更します。
3. コンピューターを再起動します。
4. ExionLC 2.0システムモジュールをすべてオフにしてから、再びオンにします。
5. 新しいハードウェアプロファイルを作成し、ExionLC 2.0システムを再設定して、アクティベートします。(AN-2246)

使用上の注意

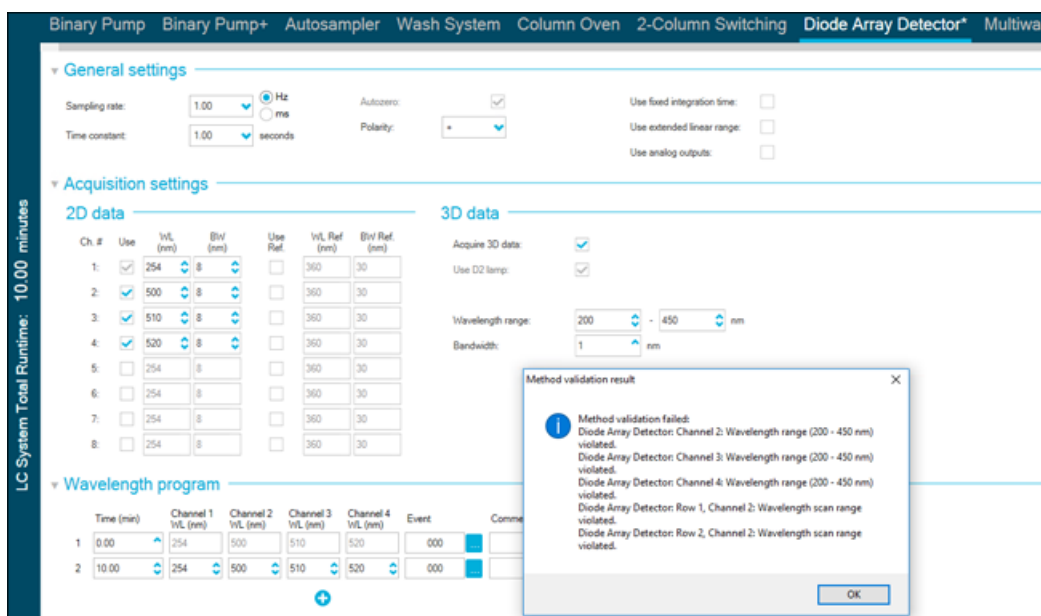
少なくとも1週間に1度はコンピューターを再起動することをお勧めします。

以下の注意事項は、ExionLC 2.0システムに適用されます：

- 撮影を開始する前に、検出器のランプが点灯していることを確認し、準備ができていることを確認します。
- LC Integrated System Detailed Statusウィンドウで溶媒レベルのモニタリングが使用されている場合、各バッチ取得の前に現在の容量が正しいことを確認してください。

- サンプルトレイをセットする際には、必ずソフトウェアのプレートレイアウトに従うか、ハードウェアユーザーガイドを参照してください。
- 高いサンプリングレートの3Dデータモードで、ExionLC 2.0システムのダイオードアレイ検出器（DAD）を含む方法で、同じデータファイルにサンプルを取得する場合、データファイルのサイズが大きくなると、サンプル取得の完了が遅れることがあります。これは、Analystソフトウェアが、LCドライバーからすべてのデータポイントを収集しようとするためです。その結果、サンプル取得には、メソッドの実行時間よりもはるかに長い時間がかかるように見えることがあります。ただし、データは正しい実行時間を表しています。大量のデータを転送することによるサンプル間の遅延を避けるため、各サンプルを別々のデータファイルに取り込みます。
- DADを搭載したシステムのLCメソッドを作成する際には、3Dデータモードが選択されていない場合でも、2Dデータモード用のWavelengthプログラムの各チャンネルおよび各行に定義されている波長が、3Dデータモード用に定義されている波長範囲内であることを確認してください。次の図は、無効なメソッドが保存されたときに表示されるエラーメッセージを示しています。Row <#>は、Wavelengthプログラムの行を指します。

図 2-1 無効なExionLC 2.0DADメソッドを保存したときのエラーメッセージ



- ハードウェアプロファイルがアクティブな状態でコンピューターをシャットダウンしたり、不意に再起動した場合、ExionLC 2.0システムがコンピューターとの通信を失う可能性があります。すべてのExionLC 2.0システムモジュールをオフにしたりオンにしたりして、再度検出します。(AN-1988)

- 物理的な修正を必要としない問題により、いずれかのExionLC 2.0システムモジュールがエラー状態になった場合、LC Integrated System Detailed Statusウィンドウのスタンバイボタン (🔌) を使用してエラーを解除することができます。このボタンでLCモジュールの電源を切り、再び電源を入れることができます。ただし、ハードウェアプロファイルの無効化と有効化は必要です。まれに、この回復方法がうまくいかない場合がありますが、その場合はハードウェアプロファイルを無効にして、コンピューターの電源を切り、LCモジュールをすべてオフにしてからオンにして、再度コンピューターの電源を入れてください。
- バッチに前処理オプションが**Use first destination vial**に設定されたLCメソッドが含まれている場合、そのバッチを再度実行する前、または同じLCメソッドを別のバッチで使用する前に、最初の目的バイアルの位置をリセットする必要があります。システムの状態がスタンバイに変わったときや、ハードウェアプロファイルを無効および有効にしたときに自動的にリセットされます。また、ユーザーは以下の方法で最初の目的バイアルの位置をリセットできます。
 - LC Integrated System Detailed StatusウィンドウのAutosamplerペインの**Reset vials** (⚙️) をクリックします。次に、**Reset destination vials**を選択します。
 - 1つのサンプルを含むバッチで、最初の別な目的バイアルの位置を使用して送信します。

前処理に**Use first destination vial** (FDV) が選択されている場合は、最後の目的のバイアル位置 (LDV) が、選択されたラックタイプとバッチに含まれるサンプル数 (n) に対して有効であることを確認してください。それ以外の場合、バッチ取得は、無効な目的バイアル番号を持つサンプルで停止します。目的バイアルの位置は、常に前のサンプルの目的バイアルの位置に1を加えたものに等しくなります。

サンプル1、2、3、4の場合、目的バイアルの位置はそれぞれFDV、FDV+1、FDV+2、FDV+3となります。バッチに含まれるサンプル数が30、バイアル位置が11~40、FDVが2×48バイアルラックで51の場合、 $LDV = FDV + n - 1 = 51 + 30 - 1 = 80$ となります。

注：予測されるすべての目的バイアルの位置にバイアルが存在することを確認してください。

- ハードウェアプロファイルを起動した後、システムがアイドル状態のまま放置され、システムが平衡化されていない、またはバッチが取得されていない場合、ExionLC 2.0DADまたはMultiwavelength Detectorの検出器ランプが点灯したままになります。検出器のランプの寿命を延ばすために、ハードウェアプロファイルを起動した直後にシステムを長時間アイドル状態にしないでください。システムを平衡化するか、システムを準備完了状態にしてから、システムを手動または自動でスタンバイ状態にします。(AN-2202)

ExionLC 2.0システムでサポート されているデバイスモデルと ファームウェアバージョン (ROM)

3

ExionLC 2.0システム用Analyst 1.7.2ソフトウェアコンポーネントは、以下の表に記載されているすべてのデバイスをサポートしています。デバイスの設定については、*周辺装置セットアップガイド*を参照してください。

表 3-1 ファームウェアのバージョン

周辺装置	モデル	テスト済みの ファームウェア	必要な通信ケーブル
LPGポンプ	LPGP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump	BP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump+	BP-200+	1.01	Ethernet
Autosampler	AS-200	1.22	Ethernet
Autosampler+	AS-200+	1.22	Ethernet
カラムスイッチ ング (バルブ駆 動)	DR-200	6.20	Ethernet
Column oven	CO-200	2.02	Ethernet
Multiwavelength Detector	MWD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector	DAD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector - HS	DADHS-200	1.24	Ethernet
洗浄システム	WS-200	1.14	Ethernet

ほとんどの場合、デバイスメーカーが提供する最新のファームウェアは、ExionLC 2.0システム用Analyst 1.7.2ソフトウェアコンポーネントで機能します。問題が発生した場合は、この表にリストされているデバイスファームウェアを使用してください。ファームウェアの検証と更新については、SCIEXが提供するドキュメントを参照してください。

ExionLC 2.0システム用Analyst 1.7.2ソフトウェアコンポーネントをインストール

前提条件

- Analyst 1.7.2ソフトウェアがインストールされている。

注：また、VC++2008 SP1 MFC Security RedistributableおよびVC++ 2017 Redistributableコンポーネントも必要です。存在しない場合は、インストールプログラムによりインストールされます。削除しないでください。削除された場合、ExionLC 2.0システムを使用したときに、Analystソフトウェアが正しく機能しなくなります。

注：コンポーネントソフトウェアをAnalyst1.7.2 Patch for Full User NameやAnalyst1.7.2 Patch for Shimadzu LC30 Plate Layoutにインストールすることはできません。Analyst1.7.2 Patch for Full User Nameがインストールされている場合は、このパッチとコンポーネントソフトウェアを同じコンピューターにインストールすることができません。

sciex.com/request-supportからお問い合わせください。Analyst1.7.2 Patch for Shimadzu LC30 Plate Layoutがインストールされている場合は、インストールを進める前にパッチを削除し、コンポーネントソフトウェアをインストールしてから、再度パッチをインストールしてください。Analyst1.7.2 HotFix for IHT on 5500 PlusまたはAnalyst1.7.2 HotFix 2がシステムにインストールされている場合、ExionLC 2.0システム用Analyst1.7.2ソフトウェアコンポーネントをインストールするか削除しても、これらは削除されません。

1. 管理者権限を持つユーザーとしてコンピューターにログオンします。
2. 実行中の測定をすべて停止し、ハードウェアプロファイルを無効にします。
3. Analystソフトウェアを閉じます。
4. **Analyst 1.7.2 Software Components for ExionLC 2.0**
sciex.com/software-support/software-downloadsからホットフィックスをダウンロードします。

注：インストール時のトラブルを防ぐために、パソコンのデスクトップ以外のローカルドライブやUSBメモリーに保存することをお勧めします。

5. ダウンロードが完了したら、**Analyst-1.7.2-Software-Components-for-ExionLC-2.0.zip** ファイルを右クリックします。
6. **Extract All**をクリックし、保存先のフォルダーを選択してから**Extract**をクリックします。
7. 抽出が完了したら、選択した保存先のフォルダーを参照して、**setup.exe**ファイルをダブルクリックします。
8. 画面の指示に従って、インストールを完了させます。
9. コンピューターを再起動します。
10. Analystソフトウェアを開き、ExionLC 2.0システムを含むハードウェアプロファイルを作成し、ハードウェアプロファイルをアクティベートします。

ExionLC 2.0システム用Analyst 1.7.2ソフトウェアコンポーネントの削除

1. 管理者権限を持つユーザーとしてコンピューターにログオンします。
2. 実行中の測定をすべて停止し、ハードウェアプロファイルを無効にします。
3. Analystソフトウェアを閉じます。
4. 大アイコンまたは小アイコンモードでコントロールパネルを開き、**Programs and Features**をクリックします。
5. 1.7.2 Patch for Shimadzu LC30 Plate Layoutがインストールされている場合は、右クリックして、**Uninstall**をクリックします。
6. 画面上の指示に従ってください。
7. **Analyst 1.7.2 Software Components for ExionLC 2.0**を右クリックして**Uninstall**をクリックします。
8. **Analyst 1.7.2 Software Components for ExionLC 2.0**がプログラムリストから削除されます。リリースノート- ExionLC 2.0.pdfファイルのコンポーネントとショートカットも削除されます。**Analyst 1.7.2 Software Components for ExionLC 2.0**が削除された後、ソフトウェアは元のAnalyst 1.7.2ソフトウェアに戻るか、Analystシステム用Analyst 1.7.2コンポーネントがインストールされる前にホットフィックスがインストールされていた場合は、ホットフィックスの1つが適用されたExionLC 2.01.7.2ソフトウェアに戻ります。
9. Shimadzu LC30プレートレイアウト用Analyst 1.7.2パッチが必要な場合は、このパッチを再度インストールしてください。

フォルダーとファイルの更新および新規作成

A

ExionLC 2.0システム用Analyst1.7.2のソフトウェアコンポーネントにより、Analystフォルダーが次のように変更されます。

注：64ビットシステムでは、このフォルダーはC:\Program Files (x86)\フォルダーにあります。32ビットシステムでは、このフォルダーはC:\Program Files\フォルダーにあります。

<パス>\Analyst\Bin:

- Analyst.exe (更新)
- AutosamplerDB.adb (更新)
- AutosamplerDBServer.adb (更新)
- BatchDir.dll (更新)
- BatchEditor.ocx (更新)
- CSISExion2LC.dll (追加)
- CSISExion2LCPS.dll (追加)
- DDISExion2LC.dll (追加)
- DDISExion2LCps.dll (追加)
- Exion2LCMethodEditor.ocx (追加)
- Exion2LCMethodSvr.dll (追加)
- Exion2LCMethodSvrps.dll (追加)
- Exion2LCUIWrapper.dll (追加)
- QuantOptimizwWizard.dll (更新)
- QuantSettings.dll (更新)
- StatusSvr.dll (更新)
- SyncMan.dll (更新)
- VDISExion2LCps.dll (追加)
- VSISExion2LC.dll (追加)

<パス>\Analyst\BinEx2:

- VDISExion2LC.exe (追加)
- Exion.Interop.Common.dll (追加)
- Exion.Interop.Interfaces.dll (追加)
- Exion.Interop.LCController.dll (追加)
- Exion.Interop.LCCore.dll (追加)
- Exion.Interop.LCDefines.dll (追加)
- Exion.Interop.LCSetup.dll (追加)
- Exion.Interop.LCStatus.dll (追加)
- ExionLCHelp.chm (追加)
- IntegratedLCSystemDriver.DriverCore.ServerComponents.dll (追加)
- IntegratedLCSystemDriver.DriverCore.ClientComponents.dll (追加)
- IntegratedLCSystemDriver.DriverCore.Base.dll (追加)
- LCMimicDemo.exe (追加)

<パス>\Analyst\ binEx2\en-US:

- IntegratedLCSystemDriver.DriverCore.Base.resources.dll (追加)

<パス>\Analyst\ binEx2\ de-DE:

- IntegratedLCSystemDriver.DriverCore.Base.resources.dll (追加)

<パス>\Analyst\Help:

- Release Notes – Components for ExionLC 2.0.pdf (追加)

注：Windows 10オペレーティングシステムで構成されているコンピューターでは、リリースノート–ExionLC 2.0のコンポーネントが保存されているフォルダーへのショートカットは**Start > SCIEX Analyst > Analyst Documentation**にあります。Windows 7オペレーティングシステムで構成されているコンピューターでは、リリースノート–ExionLC 2.0のコンポーネントへのショートカットは**Start > All Programs > SCIEX > Analyst**にあります。

<パス>\Analyst\Help\Software Guides:

- Peripheral Devices Setup Guide.pdf (更新)

- ExionLC 2.0 Software User Guide.pdf (追加)

<パス>\Common Files\SCIEX\LLDriver: (追加/更新)

- AliasBase_icf.dll
- AliasDCP_icf.ocx
- AliasRes_icf.dll
- ASBaseDCP_icf.dll
- ASBase_icf.dll
- ASCIIDevices_icf.dll
- CfgCntl.dll
- CfgCntlProxy.dll
- CfgCntlSrv.exe
- CT21OvenBase_icf.dll
- CT21OvenDCP_icf.ocx
- CT21OvenRes_icf.dll
- IdentifyLocal.dll
- IdentifySrv.exe
- IdentifySrvProxy.dll
- InstrCntlANBase_icf.dll
- InstrCntlANP81L_icf.dll
- InstrCntlANV41S_icf.dll
- InstrCntlBase_icf.dll
- InstrCntlCT21_icf.dll
- InstrCntlMc_icf.dll
- InstrCntlP61L_icf.dll
- InstrCntlS2650_icf.dll
- InstrDADBase_icf.dll
- InstrDADDCPBase_icf.dll
- InstrDADRes_icf.dll
- InstrS2650DCP_icf.ocx
- KBase_icf.dll
- KBaseDCP_icf.dll
- KNGeneral_icf.dll

- KPumpBase_icf.dll
- KPumpP61LDPC_icf.ocx
- KPumpP81LDPC_icf.ocx
- KPumpRes_icf.dll
- KWCUnits.dll
- LogConfig.exe
- McMonitor_icf.dll
- OEMFolderAccess.dll
- RCServer.dll
- SciLexer.dll
- SparkProtocol_icf.dll
- SType.prm
- SvalvesBase_icf.dll
- SvalvesDCP_icf.ocx
- SValvesRes_icf.dll
- SxASController.exe
- SxControllerBase.dll
- SxDADController.exe
- SxOvenController.exe
- SxPumpController.exe
- SxPumpPController.exe
- SxSVController.exe
- SxVIBase.dll
- SxVIIInterfaces.dll
- Units.txt
- xerces-c_2_6.dll

注： <パス> \ Common Files \ SCIEX \ LLDriverフォルダーのファイルは、AnalystソフトウェアとSCIEX OSによって共有されます。どちらのプログラムをアンインストールしても、ファイルは削除されません。これらは、AnalystソフトウェアとSCIEX OSの両方がアンインストールされた場合にのみ削除されます。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米 : NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ : Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外 : sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX University](#)

SCIEXサポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守／技術専門要員を世界中に有しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX ウェブサイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurityを参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。このドキュメントを電子的に閲覧するにはAdobe Acrobat Readerが必要です。最新バージョンをダウンロードするには、<https://get.adobe.com/reader>にアクセスします。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントに付属のカスタマーリファレンス DVD を参照してください。

ドキュメントの最新版はSCIEXのwebサイト (sciex.com/customer-documents) で入手できます。

注：このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-usまでお問い合わせください。
